**2025年度「松下幸之助国際スカラシップ共著ブックレット」執筆申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| フ リ ガ ナ |  |
| 申 請 者 氏 名 |  |
| 所 　 属 | 所属機関名称 |
| 所在地（都道府県） |
| 職 名 |  |
| Ｅ－ｍａｉｌアドレス |  |
| ス カ ラ シ ッ プ | （ ）年度生／国名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 助成年度／渡航先 |
| 執筆者数 | （ ）名　　うちスカラシップ終了生（ ）名 |
| フォーラムシンポの希望  (該当する番号に〇) | （1）フォーラムでのシンポ実施を希望する  （2）フォーラムでのシンポ実施を希望しない |
| タ　イ　ト　ル　（案） | （主題） |
| （副題） |
| ブックレットの目的、内容の意義、一般読者に伝えたいこと |  |
| ※類書がある場合、どのような点で差別化を図るかも記してください |
|  |

|  |
| --- |
| ブックレットの内容　　　（現時点で構想している概要を800～1600字以内で記述ください。）  ※個々の独立した論集にならないよう、ブックレット全体に通底するテーマや執筆者全員で共有する問題意識、  執筆分担者の専門性・役割などについて必ず言及してください. |
| （記入例）＊記入例は提出時に削除して入力してください。  　　□□を専門とする執筆者XXが△△な視点から、執筆者YYが○○な視点から多角的にアプローチする構成により、ブックレット全体で～～～～ということを読者に示すことが期待できる等。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 目次 （現時点の構想を節・項に分けて列記し、節あるいは項ごとに執筆分担者名を記してください。 ） | |
| （記入例）＊記入例は提出時に削除して入力してください。  はじめに　（執筆者1）  　本書の問い  　本書の構成と資料  第1節　○○○　（第1項前の導入執筆者2）  　第1項　○○○　（執筆者1）  第2項　○○○　（執筆者2）  注  参考文献    第2節　○○○ （執筆者２）  　第1項　○○○  …  　注  参考文献 | 第3節　○○○ （執筆者３）  第1項　○○○  …  注  参考文献  おわりに （執筆者２）  注  参考文献  ＊注意書・記入例は削除して入力してください。注と参考文献は巻末にまとめても構いません。 |
| スケジュール（執筆メンバーの打ち合わせ・研究活動、大まかな執筆計画など現時点の構想を記してください） | |
| （記入例）＊記入例は提出時に削除して入力してください。  2024年○○月：執筆メンバー顔合わせ、問題意識の共有に向けた意見交換  2024年10月：松下幸之助記念スカラシップフォーラムに編者が出席、風響社と顔合わせ  2025年○○月：ブックレット委員会と打ち合わせ  2025年○○月：執筆メンバー内での研究会①、進捗状況を確認  2025年10月：松下幸之助記念スカラシップフォーラム・特別シンポジウム実施  2025年○○月：この時期までには各自が執筆を開始  2025年○○月：執筆メンバー内での研究会②、進捗状況を確認  2026年2月末：初校完成、以後執筆メンバー間で内容擦り合わせ  2026年3月末：完成原稿を提出 | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **申請者（編者）経歴及び主要な実績** | | | | | |
| 申請者の経歴 | | | | （学歴・職歴／大学入学から現在まで記入ください。）  （松下幸之助国際スカラシップでの留学期間を明記してください。） | |
| （西暦）年　　　月 | | |  | | |
|  | ・ |  |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
|  | ・ |  |  | | |
| 申請者の主要な論文・著書等の実績  （ページ数も記入してください。） | | | | |  |
| （記入例）＊記入例は削除して入力してください。  【論文】  田中有紀2015「江永の十二平均律解釋と河圖・洛書の學」『日本中国学会報』67: 164-178.  【分担執筆】  田中有紀2014「朱子学の楽律思想―黄鐘論と度量衡論」堀池信夫総編集、辛賢編『知のユーラシア4 宇宙を駆ける知』明治書院、95-121. | | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **分担執筆者①基礎情報及び主要な実績** | |
| フ リ ガ ナ |  |
| 分担執筆者① 氏名 |  |
| 所 　 属 | 所属名称  所在地（都道府県） |
| 職 名 |  |
| ス カ ラ シ ッ プ  助成年度／渡航先 | （ ）年度生／国名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 分担執筆者①の主要な論文・著書等の実績　　　　　（ページ数も記入してください。） | |
| （記入例）＊記入例は削除して入力してください。  【論文】  田中有紀2015「江永の十二平均律解釋と河圖・洛書の學」『日本中国学会報』67: 164-178.    【分担執筆】  田中有紀2014「朱子学の楽律思想―黄鐘論と度量衡論」堀池信夫総編集、辛賢編『知のユーラシア4 宇宙を駆ける知』明治書院、95-121. | |

|  |  |
| --- | --- |
| **分担執筆者②基礎情報及び主要な実績　（必要に応じて加除し提出してください）** | |
| フ リ ガ ナ |  |
| 分担執筆者②氏名 |  |
| 所 　 属 | 所属名称  所在地（都道府県） |
| 職 名 |  |
| ス カ ラ シ ッ プ  助成年度／渡航先 | ※該当する場合のみ記入  （ ）年度生／国名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 分担執筆者②の主要な論文・著書等の実績　　　　　（ページ数も記入してください。） | |
| （記入例）＊記入例は削除して入力してください。  【論文】  田中有紀2015「江永の十二平均律解釋と河圖・洛書の學」『日本中国学会報』67: 164-178.    【分担執筆】  田中有紀2014「朱子学の楽律思想―黄鐘論と度量衡論」堀池信夫総編集、辛賢編『知のユーラシア4 宇宙を駆ける知』明治書院、95-121. | |

|  |  |
| --- | --- |
| **分担執筆者③基礎情報及び主要な実績　（必要に応じて加除し提出してください）** | |
| フ リ ガ ナ |  |
| 分担執筆者③氏名 |  |
| 所 　 属 | 所属名称  所在地（都道府県） |
| 職 名 |  |
| ス カ ラ シ ッ プ  助成年度／渡航先 | ※該当する場合のみ記入  （ ）年度生／国名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 分担執筆者③の主要な論文・著書等の実績　　　　　（ページ数も記入してください。） | |
| （記入例）＊記入例は削除して入力してください。  【論文】  田中有紀2015「江永の十二平均律解釋と河圖・洛書の學」『日本中国学会報』67: 164-178.    【分担執筆】  田中有紀2014「朱子学の楽律思想―黄鐘論と度量衡論」堀池信夫総編集、辛賢編『知のユーラシア4 宇宙を駆ける知』明治書院、95-121. | |

|  |  |
| --- | --- |
| **分担執筆者④基礎情報及び主要な実績　（必要に応じて加除し提出してください）** | |
| フ リ ガ ナ |  |
| 分担執筆者④氏名 |  |
| 所 　 属 | 所属名称  所在地（都道府県） |
| 職 名 |  |
| ス カ ラ シ ッ プ  助成年度／渡航先 | ※該当する場合のみ記入  （ ）年度生／国名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 分担執筆者②の主要な論文・著書等の実績　　　　　（ページ数も記入してください。） | |
| （記入例）＊記入例は削除して入力してください。  【論文】  田中有紀2015「江永の十二平均律解釋と河圖・洛書の學」『日本中国学会報』67: 164-178.    【分担執筆】  田中有紀2014「朱子学の楽律思想―黄鐘論と度量衡論」堀池信夫総編集、辛賢編『知のユーラシア4 宇宙を駆ける知』明治書院、95-121. | |

以　　上